

令和6年7月8日

各関係機関の長 殿

国立大学法人東北大学
大学院国際文化研究科長 江藤裕之
(公印省略)

教員の公募について (依頼)

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび本研究科では、国際文化研究専攻ヨーロッパ・アメリカ研究講座の教員を下記により公募することになりました。

つきましては、ご多用中のところ誠に恐縮ですが、貴職関係方面へ周知方よろしくお取り計らい下さいますようお願い申し上げます。

敬具

記

1. 職種・人員 教授又は准教授 1名
2. 専門分野 近現代ヨーロッパの歴史・文化
3. 担当科目 大学院授業科目
全学教育科目
4. 応募資格
 - (1) 本研究科において、教育・研究に従事する資格があると認められる者で、博士の学位をもち、教授にあつては大学における教授、准教授、又は講師としての教育経験年数3年以上であることを要し、准教授にあつては大学における准教授、講師、助教又は助手としての教育経験年数3年以上であることを要する。ただし、他の条件において特に優れている場合にあつては上記の年限を短縮することができる。
 - (2) 専門分野は近現代ヨーロッパの歴史・文化研究とし、この分野において十分な実績があると認められる者であること。
 - (3) 本研究科国際文化研究専攻地域文化研究系ヨーロッパ・アメリカ研究講座の教授又は准教授として、系共通科目や講座関連の大学院授業科目、及び全学教育科目（外国語科目が望ましい）を担当できる者であること。
 - (4) 国籍は問わないが、日本語で講義・学生指導・学内業務ができる者であること。
5. 雇用形態
 - (1) 本人事によって採用された者には裁量労働制を適用する。
 - (2) 准教授にあつては、原則として本研究科が定めるテニュアトラック制による採用とする。テニュアトラック教員の任期は4年とし、テニュア付与に係る審査は、任期満了の2年前までに実施する。その他、詳細については本研究科総務企画係へお問い合わせください。
6. 採用予定日 令和7(2025)年4月1日
7. 提出書類
 - (1) 履歴書1部（本学所定の様式を用い、署名捺印のうえ写真を添付すること）
 - (2) 業績目録1部（本研究科所定の様式を用い、査読を経た業績にはその旨を明記すること）
 - (3) 研究業績のうち、刊行されたものすべて（抜刷り、コピーでも可）。そのうちの主要な業績5点については、業績目録に○印を付すとともに、要約（それぞれ、日本語400

字程度)を付すこと。

(4) 次の2点について、それぞれ A4 版 1 枚程度にまとめた文書(日本語)。

①これまで行ってきた研究の概要と学術的意義及び今後の研究計画など。

②これまで従事してきた教育活動について、授業内容や学位論文の指導内容及び教育プログラムやカリキュラムの運営に関わる経験など。

(5) 外部資金獲得状況(最近5年間)

(6) 必要に応じて、ほかに資料の提出を求められることがある。

(7) 上記(1)および(2)の様式は本研究科 HP の「教員募集」ページからダウンロードしてください。<https://www.intcul.tohoku.ac.jp/faculty-recruitment/>

8. 応募締切 令和6(2024)年9月13日(金) (必着)

9. 選考方法 書類選考後、面接(模擬授業を含む)を実施する。面接に要する交通費は支給しない。なお、感染症等の状況によっては、面接はオンライン方式で行う可能性がある。

10. 書類提出先 〒980-8576 仙台市青葉区川内41

東北大学大学院国際文化研究科長 宛

* 封筒に「応募書類(ヨーロッパ・アメリカ研究講座)在中」と朱書きし、書留郵便で送付すること。

* 応募書類は原則として返却しない。

11. 問合せ先 東北大学大学院国際文化研究科総務企画係

電話 022(795)7541

FAX 022(795)7583

電子メール int-som*grp.tohoku.ac.jp

(送信時には「*」を「@」に置き換えること)

12. 東北大学大学院 国際文化研究科については、下記のウェブページをご参照ください。
<https://www.intcul.tohoku.ac.jp/>

13. その他

・東北大学は多様性、公正性、包摂性(Diversity, Equity & Inclusion: DEI)を向上させる活動を推進しており、多様な人材の積極的な応募を歓迎します。

東北大学 DEI 推進宣言 WEB ページ <https://dei.tohoku.ac.jp/vision/about/>

・雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律第8条に基づき女性教員の在籍率を改善するための措置として、公正な評価に基づき職務に必要なとされている能力が同等と認められる場合は、女性を優先的に採用します。

・学生および教職員が学業・研究・職務の遂行において、多様な性を尊重する環境を実現することを目的として、その方針と具体的な対応の内容を示した「東北大学-みんなが主役-多様な性に関するガイドライン」を制定しています。

ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン推進センターWEB ページ

https://dei.tohoku.ac.jp/vision/consulting/for_minority/

・東北大学には全学教職員が利用できる川内けやき保育園(定員22名)及び青葉山みどり保育園(定員116名)の他、大学病院所属の職員等が利用できる星の子保育園(定員120名)があり、全国の国立大学の事業所内保育施設として最大規模の保育環境が整っています。

また、大学病院内に軽症病児・病後児保育室もあり、全学教職員が利用できます。

・育児休業を取得する場合、教育研究の推進上必要と認めるときは、休業期間の範囲内で当該任期を延長することがあります。

- ・その他、男性教職員の育児休業等促進策も含めた本学の両立支援、研究支援等の詳細及び共同参画の取組については、下記 URL をご覧ください。

ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン推進センターWEB ページ

https://dei.tohoku.ac.jp/vision/consulting/for_family/

人事企画部 WEB ページ <https://c.bureau.tohoku.ac.jp/jinji-top/external/a-4-kosodate/>